IDE高等教育研究フォーラム

新大学評価 ―― 現実性と可能性

中教審のワーキンググループは、学部別の4段階の評価、専門分野別評価などからなる新制度を提案しました。日本の大学が追い込まれた状況にあり、これまでとは異なる、実効性のある評価が求められていることには間違いありません。

しかし、そもそも適格認定（アクレディテーション）として成立している現在の大学評価と、段階別の評価とはその原理自体が大きく異なります。また段階づけの根拠と正当性をどのように保証するのか、必要とされる評価のための人員と手間とをどのように確保するのか。また現在でも十分に機能しているとはいえない専門分野別の大学評価をどのように実質化させるのか。新評価制度の構想と、それに対する疑問をめぐって議論します。

2026年11月14日（土）
14:00～16:30

共催：IDE大学協会・千葉大学

会場：TKP新橋汐留カンファレンスセンター4A
東京都港区東新橋1-1-16 汐留FSビル
（オンライン配信はございません）

●話題提供

鈴木 宏幸　文部科学省　前・高等教育局 高等教育企画課 大学設置・評価室長，現・初等中等教育局 児童生徒課長

林　隆之　政策研究大学院大学 教授

●司　会

金子 元久　筑波大学　特命教授

■参 加 費 ： IDE個人会員（維持・学生），千葉大学教職員は無料
一般（非個人会員） 1,000円

■申込方法 ： IDE大学協会ウェブサイトの申込URLよりお申込みください

■申込締切 ： 定員 ４０人 になり次第締切

※ 詳細はＩＤＥのウェブサイト（https://www.ide-web.net）をご覧ください　↓ 申込フォーム ↓

問 合 先： idehonbu@ide-web.net
ＩＤＥ大学協会
〒105-0004　東京都港区新橋4-25-4-3F